

## 投資事業評価調書(新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷 徹 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 ( 4 3 9 9 )
-----	-------	---------------------	------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 8.7 億円 (内用地補償費 約 5.1 億円)
		特定交通安全施設等 整備事業 (主)姫路大河内線	飾磨郡夢前町置本		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
飾磨郡夢前町置本				平成 16 年度	平成 20 年度
事業目的			事業内容		
○交通安全対策 ・交通量の多い当該道路に自転車歩行者道を整備し、歩車の分離を図ることにより交通安全対策を推進する。			自転車歩行者道整備(片側) L = 1,600 m W = 3.0(3.5) m <現況> 概ね歩道なし		
評価視点					
(1)必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車交通量、歩行者・自転車通行量が多い。 (自動車 13,109 台/日、歩行者 220 人/日、自転車 297 台/日)</li> <li>・学童、園児の交通量(125 人/日)</li> <li>・過去 5 年間に自転車、歩行者の交通事故件数(7 件)</li> <li>・死傷事故率(134 人/億台 km)</li> <li>・沿道には、郊外型スーパーがあり、置塩小学校(約 500m)の通学路に指定され、置塩中学校(約 2500m)、夢前高校、東洋大姫路高校への自転車通学の路線にもなっていることから多様な通行状況にある。</li> <li>・住民参加による交通安全総点検を実施し、歩道設置の必要性が指摘された。</li> <li>・連続性の確保(前後の状況・・・起終点とも整備済み)</li> <li>・幅広歩道の整備(3.5m)</li> </ul>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車・歩行者の安全な通行が確保され、投資効果が期待できる。</li> <li>・夢前川広域一般河川改修事業と一体的に施工。</li> <li>・円滑な用地取得に向けて、地元の協力体制等事業執行環境が整っている。</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・透水性舗装の採用により、雨水の地中への還元が図れる。</li> </ul>				
(4)優先性	当該箇所は、小・中・高校の児童、生徒の通学路であり、沿道には郊外型スーパーがあるなど、多様な通行状況である。また、自動車交通量が多く、歩行者、自転車の事故も発生していることから、早急に自転車歩行者道の整備を行う必要がある。				